

PotKey-USB Version 2.4 使用説明書

はじめに

PotKey-USB は点字キーボード「ぼつぼつ君/USB」専用の Windows 操作ツールです。

Windows XP/2000/Me/98 上で動作するほとんどの Windows プログラムで使用出来ます。

PotKey-USB は漢点字に対応していますので仮名漢字変換を使わないで漢字を直接入力出来ます。

PotKey-USB の漢点字データは日本漢点字協会著『川上漢点字』に対応しています。

もちろん IME による仮名漢字変換も出来ます。

「ぼつぼつ君/USB」とパソコン本体は USB で接続しますのでほとんどのパソコンで使用出来ます。標準キーボードも同時に使用出来ますので晴眼者とパソコンを共用している場合などもスムーズに使用出来ます。

PotKey-USB はゆっくりキーを押しても全てのキーから指を離すまではプログラムに文字を送りませんので初心者でも確実に文字入力出来ます。

使用可能なソフトウェア

PotKey-USB は Windows 用のプログラムであればほとんどのプログラムで使用出来ます。

プログラムに文字を渡すにはキーイベント・メッセージ転送・クリップボード経由などの方法がありますが、PotKey-USB はそれぞれのプログラムに最適な方法を判断して文字を渡します。

特殊なキーセンスを使用しているプログラムでない限り問題ありません。

「ぼつぼつ君/USB」について

「ぼつぼつ君/USB」とはパソコンの USB コネクタに接続して使用する小型の点字キーボードです。

15 個のキーが上面にあります。USB コネクタを奥方向に置いた状態でインストール直後に設定される各キースイッチの機能を説明します。

文中の「始点」は「漢点字の始点」、「終点」は「漢点字の終点」を表します。

一番手前に 3 個並んだ少し背の低いキーが左から(←)・(↓)・(→)です。

2 列目に 3 個並んだキーが左から(始点)・(Space)・(終点)です。

(始点)の左奥から外側斜めに並んだ 3 個のキーが内側から外側に向かって(1 の点)・(2 の点)・(3 の点)です。

(終点)の右奥から外側斜めに並んだ 3 個のキーが内側から外側に向かって(4 の点)・(5 の点)・(6 の点)です。

(4 の点)の左が(↑)です。

一番奥にある 2 個のキーは左が(Delete)、右が(Enter)です。

これら 15 個のキーを単独又は複数キーの組み合わせにより標準キーボードとほとんど変わらない操作が出来ます。

初めての接続とインストール時のユーザ権限について

Windows 2000 又は Windows XP (Professional) がインストールされたパソコンに初めて「ぼつぼつ君/USB」を接続する場合、Administrator 権限を持つユーザが行う必要があります。Administrator 権限を持たないユーザが接続すると正しく認識しないことがあります。

通常使用するユーザが Administrator 権限を持たない場合は一時的にユーザ権限を Administrator に変更し「ぼつぼつ君/USB」を接続して下さい。「ぼつぼつ君/USB」を認識後パソコンを再起動し PotKey-USB をインストールして下さい。

「ぼつぼつ君/USB」の接続と PotKey-USB のインストールに関してはそれぞれの項目をご覧ください。

正常に動作することを確認しユーザ権限を元の状態に戻して下さい。

「ぼつぼつ君/USB」を接続

「ぼつぼつ君/USB」をパソコンの USB コネクタに接続します。USB ハブを経由して接続した場合はハブの種類により使用出来ない場合があります。

「ぼつぼつ君/USB」を初めてパソコンに接続した時、インストールする環境によりハードウェアウィザードが起動することがあります。この場合オプションなどは変更せず「次へ」のボタンを何回か押し、最後に「完了」のボタンを押して下さい。途中 Windows の CD-ROM を要求された場合は指示通りに CD-ROM をセットして下さい。

Windows が「ぼつぼつ君/USB」を正しく認識しているかはコントロールパネル内のゲームコントローラで確認出来ます。

Windows の種類により名称は次のように変化します。

- ・「B&L/muraodos USB-Key Ver.1.0」
- ・「HID Game Controller」
- ・「USB ヒューマンインタフェースデバイス」

他にもあるかもしれませんが名称は違っていても動作上問題はありません。

ジョイスティックとの競合

Windows は「ぼつぼつ君/USB」をゲームコントローラ（ジョイスティック）と認識します。お使いのパソコンにジョイスティックを接続されている場合、PotKey-USB が正常に動作しない可能性がありますので PotKey-USB をお使いになる場合はパソコンからジョイスティックを外してご使用下さい。

PotKey/OP-QuickReader との併用

PotKey-USB と RS-232C 接続「ぼつぼつ君」用 PotKey を同時に使用することは出来ま

せんが双方をインストールし、どちらか一方を使用することは可能です。

ただしどちらも最新版でないと不具合を生じますので古いバージョンをお使いの場合は最新版にアップデートして下さい。

[スタートアップ]には双方が登録されますのでどちらかを削除して下さい。

OP-QuickReader との同時使用は問題ありませんが、古いバージョンの場合は不具合を生じますので最新版にアップデートして下さい。

インストール

Windows 2000 又は Windows XP(Professional) がインストールされたパソコンに PotKey-USB をインストールするには、Administrator 権限が必要です。

PotKey-USB をインストールするには PotKey-USB セットアップ CD を CD-ROM ドライブにセットします。通常は自動的にセットアップを開始します。開始しない場合は PotKey-USB セットアップ CD 内の Setup.exe を実行して下さい。

インストールする環境により途中でパソコンの再起動が必要な場合があります。メッセージに従い再起動するとインストールが続行されます。

PotKey-USB をインストールを終了後、パソコンを再起動して下さい。

インストールが正常に終了すればスタートメニューの[プログラム]項目に[PotKey-USB]という項目が登録され[PotKey-USB]内に[PotKey-USB]・[PotKey-USB のドキュメント]・[PotKey-USB の環境設定]という3個のアイコンが出来ます。

[スタートアップ]にも登録されますので Windows 起動時に自動的に起動します。

インストールを実行すると以下のファイルがコピーされます。

インストールフォルダ

PotKey-USB.exe … PotKey-USB 本体

95RDrv.exe … 98/2000/XPReader 用音声ドライバー

PCTKDrv.exe … PC-Talker 用音声ドライバー

STalkDrv.exe … SmartTalk 用音声ドライバー

msvcr71.dll … 共有ファイル

MFC71JPN.DLL … 共有ファイル

mfc71.dll … 共有ファイル

s_01.wav … サウンドファイル

s_02.wav … サウンドファイル

README.TXT … ドキュメント(注意事項)

PotKey-USB.TXT … ドキュメント(このファイル)

PKCFG.exe … 環境設定ツール

Windows フォルダ

OPW0001.dll … 共有ファイル

op_dicw.bin … 辞書ファイル

アンインストール

PotKey-USB をアンインストールする場合は PotKey-USB を終了させコントロールパネルの[アプリケーションの削除]を実行し、[PotKey-USB Ver ○○]を削除します。PotKey-USB の実行中にアンインストールを行った場合は一部のファイルが残りますので注意して下さい。

※[アプリケーションの削除]は環境により[プログラムの追加と削除]など名称が異なる場合があります。

※[PotKey-USB Ver ○○]の○○は PotKey-USB のバージョンにより変化します。

環境設定

インストール終了後初めて PotKey-USB を実行すると[PotKey-USB 環境設定]プログラムが起動しますのでお好みの設定に変更して下さい。

1 の点の指定は[左外][左中][右中][右外]から選びます。(初期値は[左中])

1 の点の指定は PotKey-USB の使用中に変更することも出来ます。

音声環境は[95Reader]・[PC-Talker]・[SmartTalk]・[その他]のいずれかを指定して下さい。

[95Reader]を ON にすると 95Reader の内部機能を使用します。この機能を使用する場合は 95Reader 側の設定で[全般][外部プログラム]を ON にして下さい。

[PC-Talker]を ON にすると PC-Talker の内部機能を使用します。PC-Talker 側は特に設定を変更する必要はありません。

[SmartTalk]を ON にすると SmartTalk の内部機能を使用します。この機能を使用する場合は SmartTalk に付属のユーティリティを起動し[オプション][各種設定]メニューを開き[ツールの設定][自動読み上げモードの設定]内の[クリップボードを監視せず、自動読み上げしない]を ON にして下さい。

[その他]をチェックした場合、PotKey-USB は音声処理をしません。[クリップボード転送]のチェックを入れ、ご使用のスクリーンリーダー側でクリップボードの内容を読むように設定して下さい。

このような設定を行ってもスクリーンリーダーやプログラムの関係で音声が出ない場合があります。

[スペース・漢点字キー]はスペースと漢点字の始点・終点に用いるキーを 1 列目又は 2 列目に設定出来ます。

1 列目を選択した場合、左右カーソルキーと下カーソルキーは 2 列目になります。

初期値は 2 列目です。

[漢点字キーを拡張キーに使用]を ON にしておくと仮名漢字変換時、漢点字の始点キーと終点キーを同時に押すことで仮名漢字変換モードの ON/OFF が簡単に行えます。

[アクティブウインドウ変更時の警告]を ON にしておくで現在入力しているウインドウがアクティブでなくなった時に「アクティブウインドウ変更」というメッセージが出ます。スクリーンリーダー側で同様の機能がある場合は OFF にして下さい。なお、この機能は PotKey-USB が対応しているソフトでないで使えません。

[クリップボード転送]は標準のメッセージ転送では動作しないプログラムでも、クリップボード転送ならばうまくいくことがあります。(初期値は OFF)

[WZ 使用時もキー入力を読み上げ]を ON にすると WZ エディタを使用時も他のソフトと同じように PotKey-USB が入力した文字を読み上げます。WZ エディタに付属の読み上げ機能やその他の読み上げ機能を持つマクロを使用する場合は OFF にして下さい。

[WZ EDITOR Ver.5 以上]は WZ EDITOR Ver.5 以上で、専用マクロ「m_PotKey」をインストールした場合に ON にして下さい。「m_PotKey」は以下の場所からダウンロード出来ます。

<http://www.muraodos.com/library.html>

[変換モードは IME の状態に従う]を ON にすると PotKey-USB のモードを切り替えなくても自動的に IME の状態に従います。別々のモードで使用する場合は OFF にして下さい。

[クリップボード拡張]を ON にするとクリップボードにコピーした文字を最大 50 組まで記憶し、簡単な操作で選択貼り付けが出来ます。1 組の文字は全角文字で 15,000 文字まで記憶出来ます。

[設定ボタン]を押すと環境設定を終了し、PotKey-USB を起動します。

PotKey-USB と標準キーボードの関係

PotKey-USB を使用するにはまず PotKey-USB と標準キーボードの関係を覚えなくては行けません。いろいろなキーの組み合わせで大変そうですが短期間で覚えられるように設計していますので大丈夫です。

以下に各キーの機能を(PotKey-USB) 標準キーボードのように表します。

なお、標準キーボードの表記は AT 互換機用キーボードです。

移動関連キー

(←+Space) Home [ホームキー]

(→+Space) End [エンドキー]

(↑+Space) PageUp [ページアップキー]

(↓+Space) PageDown [ページダウンキー]

編集関連キー

(←+Delete) Backspace [バックスペースキー]

(→+Delete) Tab [タブキー]

(Space+Delete) Insert[インサートキー]

ファンクションキー

- (点字の「あ」+Space) F1[ファンクション 1]
- (点字の「い」+Space) F2[ファンクション 2]
- (点字の「う」+Space) F3[ファンクション 3]
- (点字の「る」+Space) F4[ファンクション 4]
- (点字の「ら」+Space) F5[ファンクション 5]
- (点字の「え」+Space) F6[ファンクション 6]
- (点字の「れ」+Space) F7[ファンクション 7]
- (点字の「り」+Space) F8[ファンクション 8]
- (点字の「お」+Space) F9[ファンクション 9]
- (点字の「ろ」+Space) F10[ファンクション 10]
- (点字の「2 の点」+Space) F11[ファンクション 11]
- (点字の「2・3 の点」+Space) F12[ファンクション 12]

文字種変更キー

文字種は以下の操作で切り替えます。

- (点字の「は」+Enter) 半角モードに変更
- (点字の「せ」+Enter) 全角モードに変更
- (点字の「ひ」+Enter) ひらがなモードに変更
- (点字の「き」+Enter) 記号モードに変更
- (点字の「く」+Enter) クリップボード拡張モードに変更
- (点字の「へ」+Enter) 変換(IME 使用)モードに変更(トグル動作)
- (点字の「へ」+Enter+Space) PotKey-USB の状態は変えずに IME だけを ON/OFF(トグル動作)
- (点字の「2・3 の点」) カタカナモードに変更(トグル動作)
- (点字の「3・4・5・6 の点」) 数字モードに変更
- (点字の「5・6 の点」) 英文字モードに変更

拡張キー

頻繁に使用する文字種変更は以下の拡張キーでも変更出来ます。

- (↑+↓) 半角・全角モード変更(トグル動作)
- (←+→) ひらがな・カタカナモード変更(トグル動作)
- 環境設定で[漢点字キーを拡張キーに使用]を ON にしていれば以下の拡張キーでも変更出来ます。
- (始点+終点) 変換(IME 使用)モードに変更(トグル動作)

Alt/Ctrl/Shift 指定キー

これらの操作キーはご使用になる点字キーの配列に関わらず(↑)と左側の点字キーを使います。

パーキンス式

(点字の「1の点」+↑) Alt[オルトキー](トグル動作)

(点字の「2の点」+↑) Ctrl[コントロールキー](トグル動作)

(点字の「3の点」+↑) Shift[シフトキー](トグル動作)

(点字の「3の点」+↑+Space) Shift[シフトキー]シフトロックモード

カニタイプ式

(点字の「6の点」+↑) Alt[オルトキー](トグル動作)

(点字の「5の点」+↑) Ctrl[コントロールキー](トグル動作)

(点字の「4の点」+↑) Shift[シフトキー](トグル動作)

(点字の「4の点」+↑+Space) Shift[シフトキー]シフトロックモード

Alt/Ctrl/Shift は押す度に ON/OFF を繰り返します。複数のキーを同時に押すことも出来ます。

いくつかの使用例をパーキンス配列で説明します。

(例 1) Alt+F を入力する。(点字の「1の点」+↑) を押し、一旦離して F を押す。

(例 2) Ctrl+Shift+X を入力する。(点字の「2・3の点」+↑) を押し、一旦離して X を押す。この場合、(点字の「2・3の点」+↑) を(点字の「2の点」+↑) と(点字の「3の点」+↑) というように別々に入力しても構いません。

(例 3) Ctrl を押した後で Alt に変更する。もう一度(点字の「2の点」+↑) を押し、一旦離して(点字の「1の点」+↑) を押す。又は(点字の「1・2の点」+↑) を押す。

(例 4) 範囲選択したデータをクリップボードにコピーする。まず(点字の「3の点」+↑+Space) を押しシフトロックし、カーソルなどで範囲を選択後(点字の「3の点」+↑) でシフトを解除し、(点字の「2の点」+↑) を押し、一旦離して C を押す。

(注 1) シフトロック機能は移動関連キー(カーソルキー/Home キー/End キー/PageUp キー/PageDown キー) および Alt キー/Ctrl キーを操作する間は有効ですが、それ以外のキー操作を行うと解除されます。操作しているプログラム例えばエディタなどは範囲選択のままですのでコピーなどを行えますが、この状態で文字入力などを行うと範囲選択している文字が全て消されます。これは Windows の仕様です。

(注 2) Alt/Ctrl/Shift 指定キーは次に押される文字キーやカーソルキーなどと組み合わせで Windows に送られますので Alt/Ctrl/Shift だけを Windows に送ることは出来ません。Alt キーは F10 で代用出来ます。これも Windows の仕様です。

操作関連キー

(Enter+Delete+Space) 現在入力出来る文字種を確認出来ます。

Alt+(Enter+Delete+Space) デスクトップをアクティブにします。

Ctrl+(Enter+Delete+Space) タスクマネージャーを起動します。

PotKey-USB の使用方法

PotKey-USB は Windows の起動と同時に自動で起動し、ほとんどのキー操作を「ぼつぼつ君/USB」で行えます。一例としてメモ帳を起動します。

スタートメニューは標準キーボードでは Windows キー又は、Ctrl+Esc を押すと表示されます。これを PotKey-USB で行う場合は「ぼつぼつ君/USB」の(点字の「2 の点」+↑)で Ctrl キーモードになります(カニタイプ配列の場合は(点字の「5 の点」+↑)で Ctrl キーモードになります)。続けて(Enter+Delete)を押すと Esc でスタートメニューが表示されま

(↓)を何回か押し[プログラム]までカーソルを移動します。

(→)を押し[プログラム]内の項目を表示します。

(↓)を何回か押し[アクセリ]までカーソルを移動します。

(→)を押し[アクセリ]内の項目を表示します。

(↓)を何回か押し[メモ帳]までカーソルを移動します。

(Enter)を押すと[メモ帳]が起動します。

点字キーの変更

点字キーの「1 の点」を変更するには 15 個全てのキーを押し、オプションモードにします。続いて「1 の点」にしたいキーを押せば変更出来ます。漢点字の始点キー・終点キーもこの操作で同時に変更されます。

「1 の点」にしたいキーと同時に始点キーにしたい側の(始点)又は(終点)を押すと片手入力モードになります。

スペースキー・漢点字キーと左右カーソルキー・下カーソルキーの列を変更するには 15 個全てのキーを押し、オプションモードにします。続けてスペースキーにしたいキーを押すと列が変更されます。

変更した状態は終了時に保存されますので次回起動した時は変更する必要はありません。

なお、15 個全てのキーを 2 回続けて押すと PotKey-USB は終了しますので注意して下さい。

片手入力

環境設定で[片手入力]を ON にした場合やオプションモードで片手入力を指定すると点字キーの右半分又は左半分の 4 個のキーで文字入力出来ます。

片手で入力する方法は点字 1 マスを 2 ストロークで入力します。1 ストローク目で「始点」と「123 の点」を押し、2 ストローク目で「456 の点」と「終点」を押しします。どちらかのストロークに点字が存在しない場合は(Space)を押します。

空白文字を入力する場合は 2 ストロークとも(Space)を押します。

片手入力モードでも点字パターンにより通常モード（両手1ストローク）入力可能な場合もありますが正常な動作をする保証はありませんので使用しないで下さい。

文字入力

PotKey-USBでの文字入力は点字書式で行います。

数字やアルファベットを入力する場合は数符、外字符でモードを切り替えます。スペースや改行を入力してもモードは変わりません。

PotKey-USBを起動した直後は半角英文字モードになっています。

通常、文書入力はひらがなモードで行いますので(点字の「ひ」+Enter)で全角ひらがなに切り替えます。拡張キー(←+→)でも切り替え出来ます。

数字を入力する場合は数符を入力すればそれ以後は数字モードになります。

アルファベットを入力する場合は外字符を入力すればそれ以後は英字モードになりません。

ひらがな、カタカナ、全角、半角などもそれぞれの方法で変更出来ます。

文字モードはスペースやEnterを入力しても保持されます。

IMEの仮名漢字変換を使用する場合は(点字の「へ」+Enter)で変換モードにします。

現在動作を確認しているIMEはMS-IME97/98/2000/2002およびATOK12/13/14/15です。

IMEによる変換モードを使用する場合、IMEの設定はローマ字入力、スペースキーで変換、漢字キー単独でIMEをON/OFF出来るように設定しておく必要があります。

再度(点字の「へ」+Enter)を押すと変換モードから以前のモードに戻ります。

変換モードに移行する前にIMEがONになっている場合は変換モードに移行出来ないことがありますので注意して下さい。このような状態になった場合、(Enter+Delete+Space)でPotKey-USBが変換モードになっていることを確認して(点字の「へ」+Enter+Space)でIMEだけをONにすれば正常な状態に戻ります。

再度(点字の「へ」+Enter)を押すと変換モードから以前のモードに戻ります。

これらの操作は環境設定で[漢点字キーを拡張キーに使用]をONにしていれば拡張キー(始点+終点)又は(始点+終点+Space)でも変更出来ます。

IME自動追従モードについて

環境設定で[変換モードはIMEの状態に従う]をONにした場合、標準キーボードの漢字キー又はソフトウェアによりIMEのON/OFF状態が変更された場合にPotKey-USBは変換モード又はその他のモードへの変更を自動的に行います。

クリップボード拡張モードについて

環境設定で[クリップボード拡張]をONにするとPotKey-USBはクリップボードにコピーされた文字を新しい順に50組まで記憶出来ます。

記憶可能な文字数は全角文字で1組あたり15,000文字です。それ以上の文字をクリッ

ボードにコピーした場合は記憶しません。

環境設定で[クリップボード転送]を ON にしている場合や一太郎などのようにクリップボード転送を使用する必要があるプログラムの場合には全角で 2 文字以下の文字を記憶出来ない場合があります。

この記憶された文字を入力時に貼り付けるには「ぼつぼつ君/USB」で(点字の「く」+Enter)を押すとクリップボード拡張モードに移行し記憶している最新の文字を表示します。

クリップボード拡張モードでは以下のキー操作が可能です。

(←) 文字リストの先頭方向に 1 個ずつ移動し記憶済みのデータを表示します。すでに先頭を表示している場合は末尾を表示します。

(→) 文字リストの末尾方向に 1 個ずつ移動し記憶済みのデータを表示します。すでに末尾を表示している場合は先頭を表示します。

(←+Space) 文字リストの先頭に移動し記憶済みのデータを表示します。

(→+Space) 文字リストの末尾方に移動し記憶済みのデータを表示します。

(Enter) 表示している文字をクリップボード経由で貼り付け、クリップボード拡張モードを終了します。

(Enter+Delete) 何もしないでクリップボード拡張モードを終了します。

その他のキーを押した場合も何もしないでクリップボード拡張モードを終了します。

点訳ソフトについて

PotKey-USB は以下の点訳ソフトでの点字入力をサポートしています。

OpwBE・Win-BES99・点字編集システム 3・Tエディタ

OpwBE では特別な設定の必要はありません。

Win-BES99・点字編集システム 3・Tエディタでは、それぞれのソフトウェアの入力設定で入力方式を[6 点]に設定し、1 ～ 6 の点を[F]・[D]・[S]・[J]・[K]・[L]に設定する必要があります。

IME かな漢字変換をオンにすると正常に動作しないので、必ずオフの状態を入力して下さい。

Win-BES99・点字編集システム 3 の短文・単語呼び出し機能は(点字+↓)で利用できません。

記号モードについて

PotKey-USB は出来るだけ点字の表現通りに入力出来るように設計されています。使用頻度の高い記号は直接入力出来ますが大部分の記号は点字表現の解析だけでは不可能なため、記号モードに移行して入力します。

「ぼつぼつ君/USB」で(点字の「き」+Enter)を押すと記号モードに移行しますので続けて入力したい文字の最初の点字パターンを押して下さい。

該当する記号があれば最初の候補を音声で読み上げます。2 マス目、3 マス目と点字パ

ターンを押すと表示される記号が絞り込まれます。

適当なところで「ぼつぼつ君/USB」の(←)又は(→)を押してカーソルを移動し、(Enter)を押して確定して下さい。選択した記号が入力され、PotKey-USB は記号モードに移行する直前の入力モードに戻ります。

記号入力を中止したい場合は(Enter)と>Delete)を同時に押せば PotKey-USB は記号モードに移行する直前の入力モードに戻ります。

1 マス目の点字パターンと記号の関係は次のとおりです。

(…)が1 マス目の点字パターンで次の行からが記号です。

記号に続く[…]は読みです。

全角記号

(スペース)

※[コメ印]

(16)

×[かける]

(2)

,[コンマ]

(23)

ミリ キロ セン メー グラ トン アー ヘク リッ ワツ カロ ドル セン パー ミリ ペー

(2356)

([括弧開き]) [括弧閉じ]) [角括弧閉じ]] [角括弧閉じ] } [中括弧閉じ] 】 [括弧閉じ]

(236)

ゝ[カタカナ重用] ㄥ[ひらがな重用] 〃[同じく] 々[文字重用]

(246)

←[左向き矢印]

(25)

=[イコール] →[右向き矢印]

(26)

±[プラスマイナス] ☆[星印]

(3)

' [アポストロフィ]

(34)

÷[割る] ∴[ゆえに]

(35)

★[黒星印]

(356)

〉 [山形括弧閉じ] 》 [二重山形括弧閉じ]

(36)

一[横線] - [横線] ~[波線] ” [コーテーション] 「[カギ括弧開き]」 [カギ括弧閉じ] 『[二重カギ括弧閉じ]

(4)

~[オーバーライン]

(45)

^ [べき乗] { [中括弧開き] © [二重丸印] ∧ [および]

(456)

|| [縦 2 本線] | [縦線] [[角括弧開き] 《[二重山形括弧開き] ∞ [無限大] ● [黒丸印] ∠ [角] ∂ [ラウンドディー] ≪ [非常に小さい] ≫ [非常に大きい] ∫ [積分] ∫∫ [二重積分] Å [オングストローム] ‰ [パーミル] # [シャープ] ♭ [フラット] ♪ [音譜] † [ダガー] ‡ [ダブルダガー] ¶ [段落] ” [ダブルクライムクウォート] „ [下付きダブルクライムクウォート] ∫ [積分] ∫ [分解積分] Σ [シグマ] ∠ [角] ⊥ [直角] Δ [デルタ]

(46)

◁ [山形括弧開き] ≠ [不等号] ◇ [菱形] ◆ [黒菱形] □ [四角] ■ [黒四角] △ [三角] ▲ [黒三角] ▽ [逆三角] ▼ [黒逆三角] 〒 [郵便マーク] ↑ [上向き矢印] ↓ [下向き矢印] = [げた記号] ∩ [キャップ] ¬ [否定] ˆ [弧記号] ∩ [キャップ]

(5)

: [コロ] ` [濁点] ˆ [濁音カタカナ重用] ˜ [濁音ひらがな重用] … [横点 3 つ] ⋯ [横点 2 つ] “ [ダブルコーテーション] [[角括弧開き] ♂ [オス] ♀ [メス] ∅ [セント] £ [ポンド] § [セクション] ○ [丸印] ≈ [ほとんど等しい] ○ [丸印] 𠄎 [株] (有) (代) 𠄎 𠄎 𠄎

(56)

ˆ [アクサンテギュ] ˘ [アクサングラフ] ˙ [ウムラウト] \ [バックスラッシュ] < [小なり] > [大なり] ≦ [小なりイコール] ≧ [大なりイコール] ° [度] ´ [分] ˝ [秒] °C [度シー] ∈ [属する] ∋ [要素] ⊆ [含まれる] ⊃ [含む] ⊂ [完全に含まれる] ⊃ [完全に含む] ∪ [カップ] ∨ [又は] ⇒ [ならば] ⇔ [同置] ∀ [全ての] ∃ [存在限定] ⊥ [垂直] ▽ [ナブラ] ≡ [常に等しい] √ [ルート] ∽ [相似] ∝ [比例] ∴ [なぜならば] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ I II III IV V VI VII VIII IX X mm [ミリメートル] cm [センチメートル] km [キロメートル] mg [ミリグラム] kg [キログラム] cc [シーシー] m² [平方メートル] No. [ナンバー] KK [株式会社] Tel. [電話番号] ⊕ ⊗ ⊙ ⊚ ⊛ ≡ [合同] √ [ルート] ⊥ [垂直] ∴ [なぜならば] ∪ [カップ]

(6)

◌ [半濁点] _ [アンダーライン]

半角記号

(2)
,[コンマ]
(2356)
([括弧開き]) [括弧閉じ]][角括弧閉じ] } [中括弧閉じ]
(25)
=[イコール]
(3)
'[アポストロフィ]
(36)
"[コーテーション] ~[オーバーライン] 「[カギ括弧開き] 」[カギ括弧閉じ]
(45)
^[べき乗] { [中括弧開き]
(456)
[[角括弧開き]][縦線]
(5)
:[コロン] ^ [濁点]
(56)
<[小なり] >[大なり]
(6)
_[アンダーライン] ° [半濁点]

これらの点字表記は漢点字印刷ソフト OP に準拠しています。

PotKey-USB の終了

PotKey-USB は常時働いていても他のプログラムに影響を与えることは無いはずですが何らかの理由で終了させたい場合は 15 個全てのキーを 2 回続けて押すと終了します。

バージョンアップについて

PotKey-USB の最新バージョンは以下のホームページで公開していますのでダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.muraodos.com/>

<http://www.bandl-service.com/>

セットアップ CD をご希望の方は PotKey-USB セットアップ CD(オリジナルに限る)と 140 円切手を貼った返信用封筒を同封し、B&L サービスへお申し込み下さい。

送り先はこのテキストの末尾に記載しています。

制限事項

-[ハイフォン]は全角・半角とも数字モードでのみ入力出来ます。

PotKey-USB は標準キーボードの特殊なキー入力には対応していません。

テンキー側の数字や記号だけに反応するプログラムに対しては使用出来ません。

IBM 社提供のフリーソフト Win-BES99 を使用する場合は、Win-BES99 側の入力設定で入力方式を[6 点]に、1 ～ 6 の点を[F]・[D]・[S]・[J]・[K]・[L]に設定する必要があります。

IME による変換モードを使用する場合、IME の設定はローマ字入力、スペースキーで変換、漢字キー単独で IME を ON/OFF 出来るように設定しておく必要があります。

注 意 事 項

- 1.このプログラムの著作権はムラオ電子が有します。
- 2.このプログラムおよび関連ファイルを第三者に譲渡することを禁じます。
- 3.バックアップ以外の目的でこのプログラムおよび関連ファイルを複製することを禁じます。
- 4.プログラムおよび関連ファイルのリバースエンジニアリングを禁止します。
- 5.このプログラムの使用するために又は使用した結果に対し、ムラオ電子およびいかなる第三者も責を負いません。

履 歴

2005.11.16 Ver. 2.4

制限付きアカウントユーザが正常に使用できない不具合を修正。

2004.12.23 Ver. 2.3

WZ EDITOR Ver.5 に対応。

PC-Talker 使用時の読みを改善。

半角アルファベット入力を改善。

2004.09.19 Ver. 2.2

Win-BES99 の短文・単語呼び出しに対応。

2004.06.19 Ver. 2.1

OpwBE に対応。

Tエディタに対応。

漢点字キーでの IME 制御に関する不具合を修正。

2003.05.01 Ver. 2.0

片手入力モードを追加。

クリップボード拡張機能を追加。
IME と連動しない設定を追加。

2002.09.26 Ver. 1.3

川上漢点字修正版に対応。

2002.07.21 Ver. 1.2

XPRReader に対応。

2002.04.02 Ver. 1.1

IME を ON/OFF する処理の信頼性を向上。

2002.02.24 Ver. 1.0

製品版完成。

連絡先(開発)

〒 578-0912 東大阪市角田 2-8-34

ムラオ電子 / 村尾嘉臣

E-Mail

<mailto:boss@muraodos.com>

HomePage

<http://www.muraodos.com/>

連絡先(販売)

〒 546-0003 大阪市東住吉区今川 6-2-24

B&L サービス / 石原久義

Tel 06-6703-7779

Fax 06-6703-7718

E-Mail

<mailto:bandl@bandl-service.com>

HomePage

<http://www.bandl-service.com/>

----- 2005.11.16 ----- ムラオ電子 -----